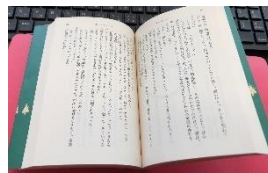




スポーツ庁「室伏広治長官」の学校訪問

4月14日（金）にスポーツ庁の室伏長官が来校し、女子バレーボール部の活動を見学しました。昨年度、本校の女子バレーボール部は、県の部活動地域移行のモデルとなっていて、休日に日本ウエルネス高校の指導を受けていました。今回は、スポーツ庁が進めている部活動地域移行の様子を視察するための来校となりました。

当日は、列を作って待ち受けた生徒一人一人とハイタッチをしながら体育館へと移動し、女子バレーボール部の活動の様子を熱心に見てくれました。後半には、室伏長官自らがYouTubeで公開している動作改善エクササイズカードを配りながら、部員たちにアドバイスをしてくれました。



読書のすすめ

本は心の栄養です。また、読書を続けていると、脳のつながりが強化され、記憶力や集中力が向上します。さらに、長生きにもつながるそうです。なかなか本を読む時間がない・・・そう思っている人がたくさんいると思います。これから学校だよりの中で、笠中生に読んでほしい本を紹介していきます。学校に来たら、まず本を開く・・・。でひ、やってみてください。

笠中生にすすめたい一冊の本

初回は、茨城県に関係が深い直木賞作家、恩田 陸の「夜のピクニック」を紹介します。

本の舞台は、水戸一高の伝統行事「歩く会」です。恩田さんは作家紹介で宮城県生まれとなっていますが、高校は水戸一高に通っていて私の同級生でした。（ほとんど話をしたことはないですが・・・）

主人公の貴子は、高校最後のイベントである「歩行祭」に密かな誓いを胸に抱いて臨んでいた。三年間、誰にも言えなかった秘密を清算するために・・・。

「歩行祭」は、全校生徒が夜を徹して80キロを歩く行事で、前半の60キロは、クラスごとに団体で歩く。貴子もクラスメイトと歩きながら、学校生活の思い出や卒業後の夢について語っていた。しかし、視線は気づかぬうちに同級生の融に向いてしまう・・・。

本屋大賞を受賞した永遠の青春小説の傑作です。

私は、当時陸上部で後半20キロの自由歩行をいかに速く走ってゴールするかばかり考えていました。こんな甘酸っぱい話とは無縁でしたが、一番の思い出です。

